

# 山科盆地を歩いてみよう!

西南ブロック 外環状線以西・新幹線以南



清水焼団地

29-054

## 清水焼団地予定地 (東を望む)

▲清水焼団地建設前の風景です。この辺りは高台になっていて山科が一望できます。中央左寄りに見える直線は東海道新幹線。ドラム缶の向こう辺りの町並みは、現山階南小学校や山科中学校の校区です。空気が澄んでいるのか山の峻嶒がくっきりと見えます。(昭和38年、川田清水焼団地町)



## 勸修寺第7市営住宅 (栗栖野中臣町)

▲山科のモデル団地の第1号。入居競争倍率も高かったそうです。ホースでたらいに水を溜め、洗濯物を洗濯板でしごく女性の姿が懐かしいですね。(昭和31年、栗栖野中臣町)



## エリアコラム 街道を歩く 滑石街道

▼西野山ヶ谷町の滑石街道から東方を撮影。上は昭和20年頃の山科盆地を撮影した貴重な写真です。民家はまだまだ少なく、田んぼが一面に広がる様子が見られます。中央の大きな色の濃い森は、現清水焼団地南辺り、その奥の方に点在するのは、山科本願寺の土塁跡です。



13-001



23-003



## 柳辻 (外環状線東側から西を望む)

▲左側の建物は平成10年頃まであった東英家具。現在は、柳辻病院の大きな建物が建ち、新十条通が西へ向かって延びています。現区役所の建物は、画面の右側になります。(昭和39年頃、柳辻草海道町)

## 西野山中臣町上空 (西から東を望む)

▶右上に並んで見えるのは勸修寺第1市営住宅。中央右の森は折上神社です。手前の旧安祥寺川の東側には明治41年建設の福田金属の工場敷地が広がっています。水車を設置し、その動力で金粉(真鍮粉等)を製造していました。真鍮粉は仏具などの伝統産業に使用されました。(昭和32年頃、西野山中臣町)



41-003

## 勸修寺 旧安祥寺川沿い (西から東北を望む)



4-156

▲畑の間に旧安祥寺川が流れ、右に勸修寺小学校の一部と、正面に坂上村麻呂墓のある森が見えます。現在、河川は拡張整備され、両岸は遊歩道として、草花や野鳥を愛でながらウォーキングを楽しむ市民の憩いの場となっています。(昭和45年頃、勸修寺東栗野町)



4-156



1-042

## オチリ池西畔の道 (南から北を望む)

▲この地域は地下水がところどころに湧き出ていました。右の写真の道路右側、細長い沼地のような池は山科本願寺の堀跡です。左側は田畑が広がっていました。現在は埋め立てられ、住宅が建ち並んでいます。1532年山科本願寺は、ここから攻め込まれ、焼亡しました。(昭和30年頃、西野左義長町)

## エリアコラム なか とも い せき 由緒ある歴史 中臣遺跡

中臣遺跡は、後期旧石器時代から室町時代にかけての大規模な複合遺跡です。昭和44年に洛東高校の生徒によって発見され、その後平成に入っても発掘調査は続けられていました。写真は平成12年、発掘現場となった勸修寺第1市営住宅の改築建設に伴う発掘調査のときのものです。



12-036



12-034